

緊急地震速報を利用した避難訓練（中学校）

避難訓練

中学校・全学年 特別活動（学校行事）

- 1 題材名 授業中における緊急地震速報を利用した避難訓練
- 2 ねらい
 - ・緊急地震速報が発令されたときの状況に合わせて、適切行動ができるようにする。
 - ・安全に避難する態度や能力を育てる。

【想定】
 ◆授業中に突然地震が来ることが分かったときの避難行動

3 訓練の実際

	時間の推移	生徒の動き	◎支援・留意点 ■評価
事前指導		○通常の活動を行っている。	◎緊急地震速報が発令されたとき落ち着いて行動できるようにする。 ①低い姿勢を取る。②頭を守る。③動かない。 ◎避難経路の確認の仕方について知らせる。 ◎訓練に慌てず、落ち着いて真剣に取り組めるように指導する。
避難訓練	○緊急地震速報発令 身の安全確保の準備 ○地震発生時 身の安全の確保	○直ちに授業を中止し身の安全を守る行動を取る。 【教室】 ・窓ガラスなど危険が予想される物から離れる。 ・頭を守る。 ・ドアを開け、避難経路を確保する。 ・カーテンを閉める。 【理科室】 ・戸棚や薬品棚、アルコールランプの転倒における火災等にも注意する。 【家庭科室】 ・食器棚・熱湯などから離れる。揺れが収まった後に、コンロの火の消火、ガスの元栓を閉める。 【音楽室】 ・ピアノの移動にも注意する。 【プール】 ・プールから上がり、フェンス等につかまる。	◎安全確保の指示 「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」の意識を徹底させるとともにと周りの状況を見えるように机の下などで動かないように指導する。 ■緊急地震速報発令から地震発生までの数秒を使い、身の安全を確保しようと行動している。 ・「落ちてこない」、「倒れてこない」、「移動してこない」の観点で状況を感じ行動している。 ■避難時において、「お」、「か」、「し」、「も」の約束を守って行動している。 ◎残留している生徒はいないか教室校舎内を確認する。
事後指導	○避難開始 ・放送や担当教諭からの指示 ○全員の安全を確認	【各学級】 ○本日の避難訓練を振り返り、自身の行動を振り返る。生徒同士でよかったところ、気付いたことなどを話し合う。	◎地震発生時の危険や約束の確認をする。